

2021年（令和3年）11月10日

明石市長
泉 房 穂 様

明石市議会議長
榎 本 和 夫
明石市議会豊かな海づくり大会推進委員会委員長
千 住 啓 介

豊かな海づくりに向けた提言

明石市議会では令和3年6月、本市での全国豊かな海づくり大会兵庫大会開催に向け、大会についての市民の認識を高め、市全体で大会を盛り上げる機運を醸成するため、明石市議会豊かな海づくり大会推進委員会を設置しました。

これまで、兵庫県や漁業関係者をはじめとする関係団体等と勉強会及び意見交換を行い、豊かな海づくりについての現状と課題を共有し、認識を深めてきました。

つきましては、委員会としての提言を下記のとおりまとめましたので、今後の市政運営の重要事項として、豊かな海づくりに向けてさらなる取組をお願いいたします。

記

1 全国豊かな海づくり大会兵庫大会について

大会開催に向けての必要経費を精査し、必要な予算を確保すること。

また、大会についての市民の認知度を上げるべく、イベントや豊かな海づくりについての啓発等、各種メディアも活用した積極的な情報発信を行われたい。特に、幼稚園、保育所、小・中学校など子供たちに向けた周知を行うことにより、家庭・地域での話題になると考える。

さらに、天皇皇后両陛下の奉迎に係る準備並びに施設改修、基盤整備などについても、予算確保の上、県とも連携して遅滞なく進めるほか、車いすが通りやすい道路整備など、バリアフリーにも配慮し、障害の有無にかかわらず誰もが大会を楽しめるよう取り組まれない。

2 海の栄養塩を増やすためのさらなる取組について

沿岸域の生物生産力向上のための施肥を行う予算を確保すること。本市では、タコ、イカナゴの漁獲量の記録的な減少が続き、対策は待ったなしの状況にある。現状では国の補助メニューが限られており、施肥と海底耕耘の両者を十分に行うことができないため、当面の市単独での予算計上が必要と考えるが、持続した取組となるよう将来的な財源確保のための方策を検討し、栄養塩を増やす取組を進められたい。

また、豊かな海づくりのためには、様々な取組を複合的に行う必要があるため、ため池のかいぼりや浄化センターにおける季節別管理運転のさらなる推進についても調査・研究されたい。

3 パートナーシップによる持続可能な豊かな海づくりについて

豊かな海づくりは、市民、漁業者、行政が一体となり、市全体として取り組んでいくことが大切である。海はもちろんのこと、ため池や河川の清掃活動についても市民と共に取り組むことで、豊かな海についての意識を啓発・共有されたい。

また、全国豊かな海づくり大会兵庫大会を一過性の行事として終わらせることなく、大会開催を契機として、広く国民に豊かな海づくりの認識が広まり、その取組が推進されるよう、国・県・他市町と連携して継続的に取り組まれたい。

以上